

JARL

香川クラブ報

No. 356 平成19年12月15日



11月13日クラブミーティング

J A 5 Y D E

忘年会のご案内

今年も忘年会の時期がやってきました、お忙しいとは思いますが下記の通り開催致しく御案内申し上げます。

多数のご出席宜しく願い申し上げます。

記

日 時 12月22日（土曜日） 19：00より

場 所 「居酒屋あかちょうちん」

高松市御坊町9－12

TEL：087-821-4826

会 費 男性 5,000円

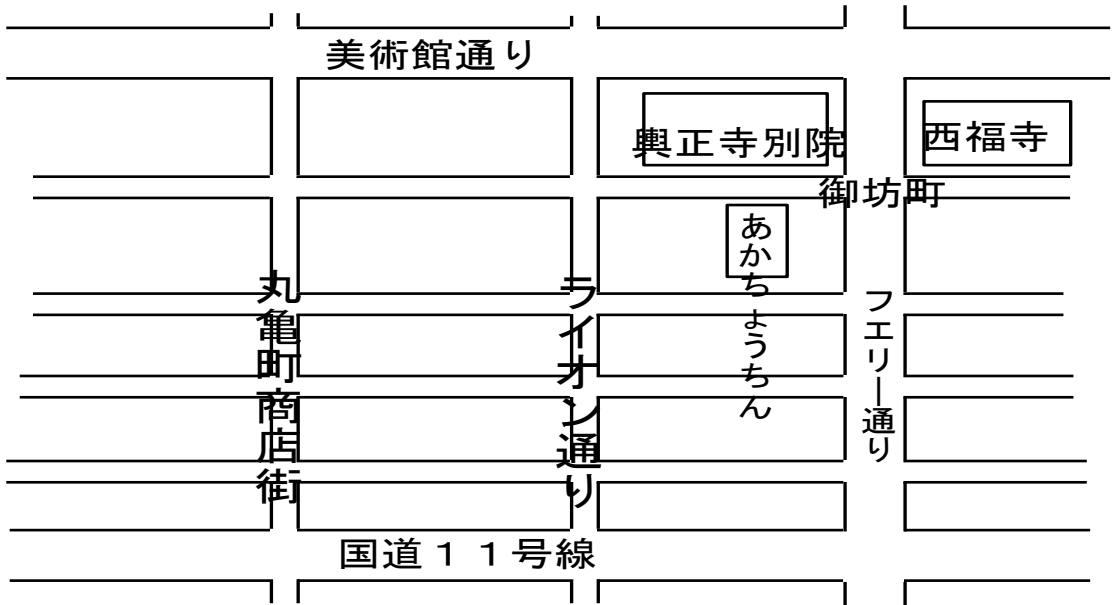
女性 4,000円

申し込み 締切12月15日（土曜日）

連絡先 JH5EZB

JH5PMZ

北
4



クラブミーティングの報告

今夏の猛暑を思うと誰もがこの冬は暖冬になるのではと予測をされたでしょう。が一転して気温が下がり、寒暖の差が10℃以上ある日もあります。世界では異常降雨により家屋の冠水などが伝えられてきており、地球全体が温暖化などの異常気象で荒れ狂っています。今まで安易に行った自然破壊のツケが今廻ってきているのでしょうか。本当にどうなるのだろうか「我々の地球」。皆様方も不測の出来事に備え日頃から防災に関心を持ち対策を怠らない様にしてください。

アマチュア無線では全てのバンドのコンディションが最悪の状態であり、夜などはローバンドでさえ異常なフェージングやピロピロ電波が出てきて交信の妨げになっています。それでもDXやコンテストを楽しんでいる無線家もいます。やはりアマチュア無線が好きだからアクティブに楽しむことが出来るのでしょうか。

さて、11月13日(火)成合町「不二の屋」にてクラブミーティングが開催され、JH5EZB 三木副会長の司会にて下記の議題について討議されました。

1. 忘年会の開催について
2. 香川マラソンコンテストの参加及び運用計画
3. 冬のフィールドミーティング及び順延になっていたボーリング大会について

始めに、忘年会について検討され、皆様方におおいに吞んで語り合っていただく為、翌日が休日になる12月22日(土)に決定しました。会場については「去年と同じ場所」「いや違った場所が良い」と云う意見に分かれましたが、毎年幹事を願っているJG5PBO 岡田OMに相談をすることです承を得ました。(後日「居酒屋 あかちようちん」に決まりました。詳細は冒頭の忘年会のご案内に掲載しています)今年最後の会合になりますので大いに羽目を外して楽しみましょう。

続いて「香川マラソンコンテスト」の参加について検討され、香川クラブとして参加することに決定しました。また、運用日程は次ページの通りに決まりました。香川マラソンコンテストはローカルコンテストとして他のコンテストと違った楽しさがありますので、是非とも多数の皆様方が参加をしてコンテストを盛り上げましょう。そして、「JA5YDE/5」の声が聞こえていましたら、ぜひお声掛けして下さい。

次に冬のフィールドミーティング(スキーツアー)は毎年幹事を願っている、山口OM、向井OMがコマーシャルの都合で準備をすることができず、今年も中止をすることになりました。また、順延になっておりました「ボーリング大会」の開催も年内や年明けになると皆様方が多忙になり、参加できにくくなってくるのでやむなく中止をすることになりました。楽しみにしておられたクラブ員の皆様方に重ね重ねお詫び申し上げます。

最後にJA5TFJ 横田OMより坂出市番の州県有地広場(瀬戸大橋博覧会会場跡地)で開催された中・四国日赤合同災害救護訓練に参加をした報告がありました。

近隣のアマチュア無線家が多数参加をしてアマチュア無線家ならではの災害時における分担任務が十分に発揮されたそうです。またアマチュア無線家の手作りの通信機器の機能、性能が災害時においても十二分に発揮ができると、関係機関から高い評価を頂いたそうです。これで災害時におけるアマチュア無線家の役割任務が多くなり災害地域に貢献できそうですが、貢献できる機会がないことを願うばかりです。

香川マラソンコンテスト運用計画

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
運用者	J15XTP	JF5ICA	JA5TFJ		J15XTP		JH5EZB	JG5OBX	JH5LYW						

＜ミーティング参加者＞ JA5TFJ/JH5EZB/JH5LYW/JH5WMN/JH5PMZ/ JF5ICA/J15XTP

ARDF競技大会に参加してきました

第19回広島県支部ARDF競技大会（広島市佐伯区 石内地区周辺）

＜144MHz 部門＞

10月7日

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	
M21	1位	J G 5 O B X	1時間 44 分 04 秒	3個	全国大会の前哨戦としてはまずまずの成績でした。
M50	1位	J G 5 W T P	1時間 30 分 28 秒	4個	

2007全日本競技大会（兵庫県三木市）

＜3.5MHz 部門（エキシビション）＞

10月20日（三木山森林公園）

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	
M21	6位	J F 5 M E D	1時間 16 分 11 秒	5個	お天気に恵まれ、競技エリアは狭かったが、それなりに十分楽しめました。
	9位	J G 5 O B X	1時間 52 分 40 秒	4個	
M50	2位	J H 5 L Y W	0時間 48 分 39 秒	4個	

＜144MHz 部門＞

10月21日（三木ホースランドパーク周辺）

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	
W35	2位	J F 5 I C B	1時間 39 分 31 秒	1個	各局とも日頃の実力が十分に発揮できず、悔しい思いをしたようです。これが全日本大会のプレッシャーと言うのでしょうか。
M21	6位	J G 5 O B X	1時間 34 分 09 秒	4個	
	16位	J F 5 I C A	1時間 47 分 33 秒	2個	
	時超	J F 5 M E D	2時間 01 分 29 秒	4個	
M50	7位	J H 5 L Y W	1時間 22 分 56 秒	4個	来年は鹿児島県、再来年は群馬県。その次は香川県でしょうか。
	11位	J I 5 X T P	1時間 37 分 54 秒	3個	
	18位	J G 5 W T P	1時間 28 分 26 秒	2個	



全国大会に向けて、J F 5 M E D 山田OMが何度も練習会を開催してくれたのですが、全国の壁は厚く良い成績で入賞をする事ができませんでした。

全国レベルの上位入賞者は1時間を切ってゴールをしていました。大会前日のエキシビション3.5MHz部門でJ H 5 L Y W 三好OMが1時間を切る好成績をあげ2位入賞を果たしました。

鳥取・岡山支部合同ARDF競技大会（鳥取県大山町 国立公園・大山・地池周辺）

<144MHz 部門>

11月11日

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	競技の途中から雨になり、とても寒く、最悪のコンディションでした。
M21	3位	JG5OBX	1時間54分50秒	1個	
M50	4位	JG5WTP	1時間23分55秒	2個	

第15回北四国ARDF競技大会（香川県坂出市 府中湖周辺）

<144MHz 部門>

11月18日

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	コースは単純ながら、反射に惑わされた大会になりました 選手として参加された方もスタッフで参加された方もお疲れ様でした。
W21	1位	JF5ICB	1時間42分16秒	3個	
	2位	JG5TJJ	1時間58分46秒	1個	
M21	5位	JG5OBX	1時間58分05秒	3個	
M50	4位	JG5WTP	1時間54分14秒	3個	

<役員及び審判員>

JA5TFJ, JH5LYW, JH5WMN, JH5PRJ, JE5PBO, JF5ICA, JF5MED, JI5XTP

中・四国日赤合同災害救護訓練に参加をして

de JA5TFJ

最近、東南海地震発生の予測から、各方面でその対策が検討されていますが、去る平成19年11月10日早朝、香川県中讃地域内陸部を震源とする震度6強の直下型地震が発生し、県内各地で土砂崩れ、道路損壊、家屋の倒壊、車両多重衝突事故、建物火災等が多発し、多数の負傷者が発生したとの想定にもとずき、県消防学校及び坂出市番の州県有地広場において、日赤の中・四国9県と大阪、和歌山県の各県支部、また警察、消防、海上保安部、日通、NTT、地方建設局、陸上自衛隊等関係機関参加の合同大規模災害救護訓練が実施されました。

我々近隣のアマチュア無線家は、四国地方本部長をはじめ香川県支部長ほか丸亀アマチュア無線クラブメンバー等12名が、香川県アマチュア無線赤十字奉仕団（JA5ZGU）として訓練に参加し、災害救助の連絡や災害現場の状況伝達等に当たり災害発生時の緊急対応を体験すると共に、大いに訓練活動に努めました。

訓練の第1日目（11/9金）は、訓練本番に先立ち県消防学校において、災害発生に伴う状況把握と隣県に対する応援派遣要請、それに呼応して参集する各救護部隊の誘導や連絡にアマチュア無線回線に対応、またその参集状況を五色台の中腹からアマチュア無線の映像回線で現地対策本部へ伝送するなどの活動を行なった。当日は総務省四国電気通信局係官も臨席のもと、四国各県はもとより参加各機関では固定有線回線途絶との想定で、各機関毎に衛星回線やヘリテレ回線を使用して連絡設定を行なうとともに、電源についても商用回線は使用不能との設定で、各機関ごとに発電源を使用して訓練を行なった。

訓練の2日目、3日目（11/10土、11/11日）は、訓練本番として前記、番の州の県有地広場において、① 河川等土砂災害現場から ② 家屋倒壊現場からそれぞれ負傷者等を救出し、被災地医療救護センターに搬送のうえ、治療の優先順位の識別（トリアージ）付与、エアーテント内にて医師による治療を実施、その連絡及び状況伝達を任務と

する我々奉仕団員は、早朝から A N T の設営や機器の設置を行い、日赤の業務用無線と並行して、アマチュア無線（145.430MHz 使用）で、また現場の状況等は、移動カメラで撮影し、アマチュア無線映像回線に対策本部へ映像伝送し、本部席前の大型モニターにて放映した。一方、医療資器材不足により自衛隊ヘリによる緊急輸送、倒壊家屋からの県警緊急救助隊による救出活動等が進む中、現地対策本部では、アマチュア無線 HF（7MHz）回線により全国の奉仕団に災害救援の呼び掛け交信を実施する等が続き訓練会場では緊急通信の緊迫した声や生々しい災害現場の映像が画面に映し出され、会場内のあちこちに赤色灯の点滅とけたたましいサイレンの音が響きわたり、本番さながらを思わせる大混乱振りの騒然とした訓練が展開された。

災害現場、現地対策本部、日赤県支部災害対策本部、災害地医療救護センター等にそれぞれ配置のアマチュア無線奉仕団員は、自分の分担任務を十分に発揮し有意義な訓練体験を得た。この的確迅速な訓練ぶりは、訓練参加の皆さんから大きな賛辞を受けるとともに、国や県機関の大型機器に対し、アマチュア無線家の手作り機器を使用しての正確な通信連絡や、完全な画像伝送を実現出来たことは主催者や関係機関から高い評価を戴いた。

最後に非常炊き出しは、通常のビニール袋に米を入れ熱湯でゆであげる非常食ではなく、坂出婦人奉仕団による「さぬきうどん」が提供され県外の訓練参加者は災害訓練で「さぬきうどん」が戴けるとは有り難いことだ！と喜んでいた。ただ、当日の会場は数日來の暖かさが一変し、海側から冷たい風が吹き付ける寒い一日となり、早朝から訓練に参加された各局皆様には大変お疲れ様でした。この訓練で得た体験や反省検討事項を参考に、さらに研鑽を積み、本番に備えることは勿論ながら、願わくば、それらを必要とする様な大規模地震災害のない、平穏な毎日が推移することを祈るところである。

（参考）今回の救護訓練は、日赤の各県支部に配備の「被災地医療救護拠点国内型緊急対応ユニット」（d E R U）の医療用具やエアーテント等の新資器材を使った医療活動を確認することと、関係機関相互の広域活動の連携を確立することを目的としたものであった。



1stQS0 と全日本 ARDF 競技大会

de JH5LYW

この土・日曜は秋祭り、次の土・日曜は全日本 ARDF 競技大会、その次の土・日曜は……。そうこうしながら何とか農作物の収穫を終わらせることができた。そんな忙しい中、前回のクラブ報でも紹介された<50MHz 帯小電力トランシーバー(ポケラ)>を完成させ、全日本 ARDF 競技大会特別記念局 8J3ARDF と 1stQS0 しようと、合間をぬって夜な夜な回路図とにらめっこ。半田ごてと凸レンズと懐中電灯の世話になりながら 18 日夜に完成させた。何度も配線チェックと調整を繰り返し、その夜は日付が変わって就寝。

翌 19 日夜、XYL に相手をしてもらい家の外から呼び出すも、うまく交信できない。今度は XYL にポケラを持って外に出てもらった。電波を追っかけてダイヤルをゆっくり廻すと、「JH5LYW こちらは JH5PRJ」と XYL の声。

周波数を合わせ呼び返すと「聞こえるよ。はっきり聞こえるよ！」と歓喜の応答。順次距離を伸ばし 200m ほど離れたところでテストは中止。何とか間に合った。

文句を言いながらも相手をしてくれた XYL に感謝。

20 日午前 8 時半、全日本 ARDF 競技大会に参加する JF5MED、JG5OBX、JA5UVT、JI5CAE の各局が我が家に集まった。例によって、ワイワイと楽しいドライブ。11 時過ぎに兵庫県三木市三木山森林公園に着いた。昼食をすませ、エキシビジョン大会の受付。

3.5MHz 帯の競技は 3 回目だが、前回の広島大会では散々だったので不安が先立つ。

審判長から「今大会は初心者用に距離を短くしており、各 TX はスタート地点から 400m 以上です(正式競技は 750m 以上)」と説明があった。



スタートは 4 組目。走りながらイヤホンを入るが信号が聞こえない。「ありや、周波数がずれてる」ダイヤルを廻しながら走るが合わない。仕方ないので止まって合わせると、すぐ近くで信号が聞こえてくる。右のくぼ地にアンテナが見え、幸先良く第 5TX をゲット。

次は第 1TX。

峠を越え方向を定め、一気に平地を抜け向かい側の山に駆け上がり鉄塔が目に入った。嫌な予感がしながら周辺をうろ

うろ。山田 OM が来たがいつの間にかいなくなった。

2 サイクル(10 分)ほどその鉄塔から離れられず時間を喰する。「これではいけない」と思い直し、山の稜線沿いに鉄塔から離れて受信すると、何と先ほど登ってきた山の下から聞こえてくる。「あちゃ、行き過ぎてた」と後悔しながら、やっと第 1TX をゲット。

山に沿って第 4TX に向かって走っていると、今度は第 3TX がすぐ上から聞こえてくる。取り合えず第 3TX をゲット。改めて探索すると、何と第 1TX の方から聞こえてくる。

通り過ぎていたのだ。腹が立つやら情けないやら(いつものことだが)。



道に出て進めば良いものを、何を血迷ったか山の中を一直線。すると突如目の前に巨大な砂防ダムの壁が現れ、目の前が真っ暗になりそうになった。気を取り直して、急斜面と蜘蛛の巣、ハゼの木やイバラと格闘しながらやっと第4TX をゲット。今度は道路に出てゴールへ向かって走る。タイムは48分39秒。速報では2位だが、まだまだ後ろの組がたくさんいる。



各局と談笑したり、なじみの局がゴールするのを応援したり、受信機のテストをしたりしながら過ごしていると、山田 OM がびっこを引きながらゴールして来た。聞くと「捻挫をした」とのこと。見ると右足首が大きく腫れている。大会本部に救護を頼むとスポーツ式の湿布薬を持ってきて「これしかない」とのこと。

どんなに立派な大会でも「これはいただけない」と感じた。丸山 OM も無事ゴールした。大会終了後近くの薬局で湿布薬と固定用テープを買って宿舎に移動した。

部屋に荷物を置いて入浴。ほど良い湯加減が疲れを取ってくれる。 次号につづく

★★★★ 新入会員募集中 ★★★★★

JARL香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成59年目(1948年10月結成)にあたります。

そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。

クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新会員の募集にご協力ください。

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。

また、平成19年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

JARL香川クラブ報

発行責任者	JH5LYW	三好伸幸
編集者	J15XTP	坂内信洋
	JG5OBX	丸山博
	JH5WMN	山口博司
	JE5PBO	岡田光